

各 位

2016年11月7日



会 社 名：SOMPOケアメッセージ株式会社
代表者名：代表取締役社長 菊井 徹也
(JASDAQコード番号：2400)
問合せ先：経営企画部長 石部 啓二郎
電話番号：086-242-1551

業績予想及び配当の修正に関するお知らせ

当社は、2016年5月13日の決算発表時に公表いたしました2017年3月期第2四半期業績予測と実績値に差異が発生しました。また最近の業績動向および今後の見通し等を踏まえ、2017年3月期当期の連結業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想数値と実績値の差異および予想値の修正について

2017年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値と実績値の差異
(2016年4月1日～2016年9月30日)

	営業収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 38,300	百万円 2,200	百万円 2,000	百万円 1,300	円 銭 64.74
実績値（B）	36,752	△177	△385	△1,296	△64.58
増減額（B - A）	△1,548	△2,377	△2,385	△2,596	
増減率（%）	△4.0	—	—	—	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2016年3月期 第2四半期）	40,210	4,308	4,107	2,713	135.13

予想と実績差異の理由

今回の第2四半期（累計）連結業績は、当社及び当社の子会社であるシルバーケア&サポートシステム株式会社が運営する一部の施設において発生した虐待等の報道による影響等が続き、特定施設およびサービス付き高齢者向け住宅の入居率回復が低調なことを主な理由として売上減が影響し、あわせて安全管理の徹底に向けた取組みを実施していくための人件費等の間接コスト増加の影響もあり営業利益、経常利益が悪化し減益となりました。

また、上記の理由の他に当社単体が通期で赤字決算となる見込みのため、繰延税金資産の取崩しを計上し、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても大幅な減益となりました。

2017年3月期通期連結業績予想数値の修正（2016年4月1日～2017年3月31日）

	営業収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 77,200	百万円 4,600	百万円 4,200	百万円 2,800	円 銭 139.44
今回修正予想（B）	73,900	600	200	△900	△44.82
増減額（B - A）	△3,300	△4,000	△4,000	△3,700	
増減率（％）	△4.3	△87.0	△95.2	—	
（ご参考）前期実績 2016年3月期）	78,799	6,791	6,355	4,395	218.92

修正の理由

当社グループの通期連結業績予想におきまして、下半期以降については特定施設およびサービス付き高齢者向け住宅の入居率の回復により売上減に歯止めをかけ、あわせてコスト圧縮に努めることで業績の回復に努めてまいります。しかしながら、上半期での減益が影響し、通期での営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益が悪化し減益となる見込みです。

その結果、営業収入73,900百万円、営業利益は600百万円、経常利益は200百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は900百万円を予想し、前回発表予想を下方修正いたします。

2. 配当予想数値の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2016年5月13日発表)			円 銭 —	円 銭 42.00	円 銭 42.00
今回修正予想			—	未定	—
当期実績	—	0.00	—		
（ご参考）前期実績 (2016年3月期)	—	0.00	—	65.00	65.00

修正の理由

当社はこれまで、株主の皆様に対する利益還元を重要な政策として掲げ、配当性向30%を基本方針しております。今般、2017年3月期の業績下方修正を行うなか、経営努力は実施するものの業績回復の見通しが不透明であるため、配当数値は2017年3月期通期連結業績が確定するまで未定とさせていただきます。

（注）上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

以上